



令和5年第1回 朝霞市議会定例会

令和5年度（2023年度）朝霞市一般会計予算など25議案を審議

令和5年第1回朝霞市議会定例会は、2月24日（金）から3月24日（金）まで、29日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から25議案が提出され、審議した結果、24議案を可決・同意し、1件の議案を継続審査としました。

また、議案第1号については、デジタル化専門人材および市立学校での医療的ケア児の支援に係る看護師の配置の予算等を増額する修正案が提出され、否決しました。

議員提出議案が1件提出され、可決しました。

議案の件名と要旨は、次のとおりです。

なお、議案審議結果は市ホームページに掲載しています。



または

朝霞市議会 議案・請願審議結果

検索



議 案 審 議

議案第1号 令和5年度（2023年度）朝霞市一般会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 令和5年度一般会計予算は、定例会初日の2月24日に市長から施政方針、予算編成の説明が行われました。

予算総額は、500億円で、前年度当初予算対比9.6%の増となっています。

歳入の主なものは、市税、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金、市債などです。

歳出の主なものは、第6次総合計画策定のための経費、地方税電子申告システムの改修経費、県議会議員・県知事および市議会議員選挙の執行に係る経費、0から2歳児で第3子以降の保育料無償化や公設公営保育園のおむつ回収を行う経費、乳幼児等の各種予防接種に係る経費、水質や大気などの環境調査を実施する経費、ごみ焼却処理施設の補修工事を実施するための経費、空き家対策や住宅政策に係る経費、（仮称）宮戸二丁目公園・まぼりひがし公園・まぼりみなみ公園の整備に係る経費、青葉台公園第2駐車場の拡張を行うための経費、市内循環バス運行計画の見直しやバスロケーションシステムに係る経費、入学準備金や奨学金貸付金を貸し付けするための経費、少人数学級の編成

に伴い新たに必要となる普通教室の整備工事、少人数学級の編成に伴い普通教室が不足する第六・第九小学校の増築工事、東朝霞公民館の空気調和設備改修工事および中央公民館のエレベーター更新工事などです。

【質疑】

鳴子踊りの参加促進に関する来年度の方針

田原亮議員 今夏の彩夏祭は40回記念、鳴子踊りは30周年です。本州初の鳴子踊り開催地として、市内小中学生の青少年育成と郷土愛醸成のために、我々大人が鳴子踊りの機会を創出していくことは意味深いものです。

こういうまちにしたい！朝霞で育つ子どもたちにはこのように育って欲しい！という熱意こそが人を動かすのです。なぜ、市内各小中学校で鳴子踊り参加の機会を創出する必要があるのか、明確なメッセージを発するべきと存じますが、市長と教育長の見解を求めます。

市長 児童・生徒が彩夏祭の鳴子踊りに参加することは、健全育成や郷土愛を育み、本市の次世代の文化を担う子どもたちがふるさとに誇りを持つきっかけとして非常に意義深いものと考えており、重要な施策として継続して取り組んできました。

今後はさらに参加しやすい環境整備に向けて、鳴子踊り参加促進支援事業補助金を含め、教育委員会や学校の意見や要望を踏まえ、事業をさらに前進させるように所管部署に指示をしたところです。

教育長 彩夏祭は本市を代表する大きな行事であり、教育委員会としても、彩夏祭や鳴子踊りを通じて児童・生徒が自ら暮らす朝霞のまちに誇りを持つという点からも、非常に意義深いものと捉えています。

私からも、校長会議で各校に参加について前向きに検討するように指示をしました。来年度は彩夏祭40回記念という節目の年です。今後も関係課と連携を図りながら、引き続き各学校の参加を促していきます。



あさか多子世帯応援プロジェクト等について

外山まき議員 妊娠時と出産時にそれぞれ5万円給付の伴走型相談支援、子育て用品のギフトボックスが届く子育てファミリー応援事業、第3子以降に30万円の多子世帯応援給付金、第3子以降の保育料と学校給食費無償化、おむつ持ち帰り廃止など、国や県、朝霞市独自の子育て世帯支援策が始まりますが、上の子の年齢に関わらず無償となるのか。また、申込方法はどのようなのでしょうか。妊婦さんや出産直後の赤ちゃんがいる人がそのためにわざわざ市役所に出向くのは大変だと思うのですが。

こども・健康部長 第3子以降の保育料の無償化の判定については、年齢を問わず同一世帯のきょうだいが対象となりますが、別に生計を立てている場合は別世帯としてみなされます。一方で、別居しているきょうだいがおり、仕送り等により生計が同一である場合は同一世帯として取り扱います。

伴走型相談支援、子育てファミリー応援事業、多子世帯応援給付金の申込方法については、新生児訪問の際に申請書をご自宅にお持ちし、記入していただきますので、市役所などに足を運ぶ必要はありません。

学校教育部長 小・中学校に在籍する3人目以降の学校給食費無償化については、市内に住所を有するご家庭で義務教育の課程に在籍する児童・生徒が3人以上いる場合に、市内の小・中学校に在籍している3人目以降の給食費を無償にします。



小中学校給食費の保護者負担軽減について

かしわや勝幸議員 これまで給食費無償化・負担軽減・質確保等を取り上げさせていただいており、当議案で物価高騰下での全保護者負担軽減（市負担増）、多子世帯無償化で一步前進ですが、就学援助制度対象者について、改定徴収時には支給金を増額し、引き続き実質無償ということではいか。また、物価高騰・負担軽減策として、認定者は緊急性・生活の切迫度が高く、世帯総所得基準を引き上げ改定し、より多くの家庭が支給対象となるよう検討しないのか伺います。

学校教育部長 就学援助制度の対象者に対する給食費については、徴収する金額に応じて援助を行い、改定分を徴収する際には、就学援助費の支給金額についても同様に改定を行い、保護者に負担を強いるものではありません。

就学援助の認定基準の見直しについては、今後の物価高騰や経済状況、他市町村の状況などを注視し、総合的かつ適切に判断していきます。

令和5年度は、給食の食材に係る費用と質と量を確保しつつ、併せて保護者の負担軽減についても取り組んでいきます。

おむつ回収委託の概要と民間保育園への対応

遠藤光博議員 厚生労働大臣から「園での処分を推奨する」と自治体に通達するとの報道があり、市はその前に予算計上いただいたことは良かったです。保護者と保育士の両者の負担を軽減するおむつ回収についての概要と、民間保育園へは今後補助など考えているのか対応について伺います。

こども・健康部長 使用済みおむつの回収・処分の対象は分園を含めた公設公営保育園の10施設、回収する頻度は週2回を予定しています。

おむつ回収に関する民間保育園への補助について、国の通知では、保育所等での使用済みおむつの処分を行うことを推奨するとし、その際、保管用ごみ箱の購入等の費用について国の補助金が活用できるとの説明があったところです。

しかしながら、民間保育園とのやり取りの中で、おむつ回収に関するご相談やご要望はなく、おむつ回収の補助を行うことは現時点では考えていません。また、国の補助金を活用するためには県の負担割合もあるため、今後、県と調整する必要があるものと考えています。



第二中学校の改修工事と改築の見通し

本田麻希子議員 第二中学校は校舎のコンクリート圧縮強度が基準値を下回っており、改築が必要であるとされています。しかし、来年度は外壁改修と屋上防水工事のみを緊急的に行うと判断しています。この改修工事で第二中学校の校舎を今後何年もたせるのでしょうか。

学校教育部長 この改修工事によりコンクリート構造体の寿命が延びるものではありませんが、欠損部を補修し、外壁塗装、屋上防水工事を行うことにより、コンクリート構造体の劣化の進行を抑えることができると考えています。

屋上防水工事を実施した場合には、資材メーカーにより10年の施工保証が附帯されていることから、当面の間は安全に学校施設が使用できるものと考えています。しかしながら、やはり建て替え等含めて検討が必要な学校ですので、教育委員会で検討を始めたところです。



令和5年度朝霞市一般会計予算

大橋正好議員 朝霞市総合計画には基本的な4つのコンセプトを位置付けています。1. 安全・安心なまち、2. 子育てがしやすいまち、3. つながりのある元気なまち、4. 自然・環境に恵まれたまち。この1~4のコンセプトはどんなことなのか、何をするのか、令和5年度の予算配分はどうか、分かりやすく説明してください。

市長公室長 安全・安心なまちでは、防犯カメラ設置工事に係る補助引き上げや、朝霞駅南口駅前通りの一方通行化などを検討するための予算などを計上しています。子育てがしやすいまちでは、3人以上のお子さんがある多子世帯をサポートするための保育料の軽減や、公設公営保育園での使用済みおむつを回収・廃棄するための予算などを計上しています。つながりのある元気なまちでは、イベントボランティアの活動環境の整備や、ふるさと納税の運営の予算などを計上しています。自然・環境に恵まれたまちでは、太陽光発電システム等の設置費用補助対象の拡充、北朝霞駅西口駅前広場の改修に係る設計やエリアプラットフォームの活動支援を実施するための予算などを計上しています。

新たに組み込む計画策定の具体について

田辺淳議員 2023年度の朝霞市の一般会計予算は、500億円となりました。さて、市の第5次総合計画（10年間）がそろそろ（3年後に）終了となり、新年度から朝霞市は第6次総合計画（市の最上位計画）の策定に取りかかります。併せて都市計画マスタープランを初め多くの計画が見直されるなど、市としても一大事業が始まるわけです。新年度に予定する、各部における計画策定の具体について、改めてご説明ください。

市長公室長 令和5年度の計画策定については、総合計画や公共施設等マネジメント実施計画は令和8年度から令和17年度までを計画期間として策定するほか、地域防災計画は令和5年度からの2か年で計画を策定します。また、障害者プランは令和8年度から令和11年度までを、障害福祉計画、障害児福祉計画や高齢者福祉計画および介護保険事業計画は令和6年度から令和8年度までを計画期間として策定します。

そのほか、子ども・子育て支援事業計画は令和7年度から令和11年度、一般廃棄物処理計画は令和6年度から令和15年度までを、都市計画マスタープランは令和8年度から令和27年度までを計画期間として策定するほか、あさか健康プラン21は令和6年度を始期とする計画を策定します。

そのほか、北朝霞・朝霞台駅周辺地区の未来ビジョンの策定や、内間木公園の拡張整備について基本構想を策定します。

事業の廃止や削減など

石川啓子議員 予算のうち、削減されたもの、廃止されたもの、2022年度に実施したもので終了となってしまった事業はどのような状況にありますか。また、担当部より予算要求があったにもかかわらず、不採択となってしまう予算化されなかった事業はどのような事業ですか。

市長公室長 令和5年度の事業の廃止・終了については、障害児放課後児童クラブ管理運営委託、小・中学校プールおよび溝沼子どもプール放射性物質濃度測定、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金や電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金などがあります。

不採択事業は、要支援者個別避難計画の策定、市民センター施設修繕、保育園でICTを活用したシステムの導入などがあります。

また、令和4年度当初予算で廃止・縮減した事業のその後の状況は、「広報あさか」のページ数の増加や公立保育園の遠足再開のための予算を令和5年度当初予算に計上しています。



子が3人以上の世帯のサポート事業について

山口公悦議員 多子世帯を応援する施策が取り組まれます。保育料の軽減は、公立も私立も対象なのでしょうか。また、3人目以降の学校給食費を無償にすることですが、上のお子さんの対象を高校までにするとか、私立の学校に通っている世帯も対象とするとかすべきではないでしょうか。

こども・健康部長 保育料については、公設保育園、民間保育園、同じ制度の上で運用していますので、どちらの場合も保育料軽減事業の対象となります。

学校教育部長 学校給食費の3人目無償化については、市内の公立小・中学校在籍の児童・生徒が対象となり、特別な手続きなく、プッシュ型で実施ができます。

また、義務教育内に3人子どもがいて、3人とも私立という場合については、給食の状況を把握できないため、今回は対象としていません。ただし、義務教育内に3人子どもがいて、上2人が私立という場合、3人目が公立に行っている場合は無償という形で考えています。私立の扱いについては、今後調査研究をしていきたいと考えています。



一般会計予算（第1号）に対する修正案

否決（賛成少数）

令和5年度（2023年度）朝霞市一般会計予算について修正動議が提出され、原案と併せて審議されました。

原案に対する修正部分は、デジタル化専門人材2人の確保、職員の資質向上に十分な研修予算、医療的ケア児の支援に係る会計年度任用職員による看護師1人の配置の予算等を2,249万6千円増額するものです。

議案第2号 令和5年度（2023年度）朝霞市国民健康保険特別会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 予算総額は、111億306万1千円で、前年度当初予算対比0.03%の減となっています。

歳入の主なものは、国民健康保険税、県支出金などです。

歳出の主なものは、療養給付事業、高額療養費支給事業、国民健康保険事業費納付金などです。

議案第3号 令和5年度（2023年度）朝霞市介護保険特別会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 予算総額は、85億512万3千円で、前年度当初予算対比4.7%の増となっています。

歳入の主なものは、保険料、支払基金交付金などです。

歳出の主なものは、介護サービス等諸費、包括的支援事業・任意事業費、諸支出金などです。



議案第4号 令和5年度（2023年度）朝霞市後期高齢者医療特別会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 予算総額は、16億4,351万5千円で、前年度当初予算対比2.1%の増となっています。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料、繰入金などです。

歳出の主なものは、一般管理費、徴収費、後期高齢者医療広域連合納付金などです。



議案第5号 令和5年度（2023年度）朝霞市水道事業会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 収益的収入および支出については、収入の事業収益が、27億3,411万1千円で、前年度当初予算対比11.1%の増、支出の事業費が、23億6,979万円で、前年度当初予算対比2.5%の減となっています。

資本的収入および支出は、資本的収入が、11億67万5千円で、前年度当初予算対比23.4%の増、資本的支出が、20億3,570万6千円で、前年度当初予算対比15.6%の増となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額については、当年度分損益勘定留保資金等で補填するものです。

【質疑】

令和5年度朝霞市水道事業会計予算

佐久間ケンタ議員 水道料金が改定されたことで今年度の給水収益が2億2,144万1千円増額されましたので、その使い道と、老朽管更新事業が昨年度より3,325万9千円増額され5億1,189万1千円計上されておりますが、増額の要因についてお伺いします。

上下水道部長 料金改定に伴う給水収益の増額分の使い道については、老朽管更新事業や耐震化事業などの建設改良工事への積立金や、企業債を償還するための積立金に使用しています。

令和5年度の老朽管更新事業の増額要因については、令和4年度と比較して約75メートル、約1,000万円の増額となっています。このほかに、水道管布設替工事後の舗装復旧工事について、前年比で、復旧面積で約9,500平方メートル、金額で約7,800万円の増額となり、全体で約8,800万円の増額となっています。



議案第6号 令和5年度（2023年度）朝霞市下水道事業会計予算 原案可決（賛成多数）

【説明】 収益的収入および支出については、収入の事業収益が、20億8,321万6千円で、前年度当初予算対比2.4%の増、支出の事業費が、20億8,321万6千円で、前年度当初予算対比2.4%の増となっています。

資本的収入および支出は、資本的収入が、20億1,491万8千円で、前年度当初予算対比97.2%の増、資本的支出が、23億1,860万円で、前年度当初予算対比69.3%の増となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額については、当年度分損益勘定留保資金等で補填するものです。



議案第7号 令和4年度（2022年度）朝霞市一般会計補正予算（第6号） 原案可決（全会一致）

【説明】 補正額は、9億530万円の増額で、予算総額は、531億5,735万円となりました。

歳入は、地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金などを補正します。

歳出は、財政調整基金積立金、生活保護費などを増額し、後期高齢者医療特別会計繰入金などを減額します。

また、新たに出産・子育て応援給付金などを計上します。

議案第8号 令和4年度（2022年度）朝霞市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

原案可決（全会一致）

【説明】補正額は、6,833万4千円の増額で、予算総額は、114億2,550万7千円となりました。

歳入は、県支出金、繰入金などを補正します。

歳出は、保険給付費を増額しています。

そのほか、財政調整基金等の利子およびこの補正予算における歳入歳出の差引額を積み立てています。

議案第9号 令和4年度（2022年度）朝霞市介護保険特別会計補正予算（第2号）

原案可決（全会一致）

【説明】補正額は、1,726万3千円の増額で、予算総額は、84億8,068万6千円となりました。

歳入は、国庫支出金、介護保険保険者努力支援交付金、財産収入を補正します。

歳出は、保険者機能強化推進交付金などの増加に伴い、介護保険保険給付費支払基金積立金などを増額します。

議案第10号 令和4年度（2022年度）朝霞市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

原案可決（全会一致）

【説明】補正額は、2,471万4千円の減額で、予算総額は、15億8,752万8千円となりました。

歳入は、繰入金を補正します。

歳出は、保険基盤安定負担金の確定により、後期高齢者医療広域連合納付金を減額します。

議案第11号 朝霞市個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

原案可決（賛成多数）

【説明】本市で生活保護を受給する外国人が、医療扶助のオンライン資格確認を行うシステム利用のため、新たに「生活に困窮する外国人に対する生活保護の措置に関する事務」を市の独自利用事務として登録する必要があることから、条例改正を行うものです。



議案第12号 朝霞市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

【説明】子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用条項の改正を行うものです。

【質疑】

子ども家庭庁発足にともなう市役所の責務

黒川滋議員 本条例改正は、参照法津の条文番号のずれを修正する内容だけだが、その法改正の背景にある子ども家庭庁の設置を機に、市として取り組むべき課題をどのように認識していますか。

こども・健康部長 こども家庭庁と同時に施行する「こども基本法」では、子ども施策を行うにあたっての基本理念として、子どもが意見を表明する機会が確保されることや、多様な社会的活動に参画する機会が確保されること、また、子どもの意見が尊重され、その最善の利益を優先して考慮されることが定められています。こども家庭庁による子ども政策の推進方針とこども基本法の基本理念にのっとりながら、子ども施策の策定・実施を行っていきたいと考えています。



議案第13号 朝霞市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

【説明】国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額を63万円から65万円に、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を19万円から20万円にそれぞれ引き上げるもので、地方税法施行令が改正されたことに伴い、本市においても同様の改正を行うものです。

議案第14号 朝霞市博物館条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

【説明】博物館法の一部が改正されたことに伴い、引用条項の改正を行うものです。



議案第15号 朝霞市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

原案可決（賛成多数）

【説明】「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、家庭的保育事業者等について、送迎用バスにおける利用乳幼児見落とし防止のための装置設置義務を定める規定等を追加し、「子の懲戒」に関する規定の削除に伴う関係規定の削除を行うほか、所要の改正を行うものです。

議案第16号 朝霞市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

原案可決（賛成多数）

【説明】「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」が改正されたことに伴い、特定教育・保育施設および特定地域型保育事業について、「子の懲戒」に関する規定の削除に伴う関係規定の削除を行うほか、所要の改正を行うものです。

議案第17号 朝霞市放課後児童クラブの設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

【説明】「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」が改正されたことに伴い、放課後児童クラブについて、安全計画の策定や業務継続計画の策定に関する規定を追加するほか、所要の改正を行うものです。

議案第18号 朝霞市国民健康保険条例の一部を改正する条例

原案可決（全会一致）

【説明】出産に係る経済的負担を軽減するための出産育児一時金の支給額を、42万円から50万円に引き上げるもので、健康保険法施行令が改正されたことに伴い、本市においても同様の改正を行うものです。

議案第19号 朝霞市都市計画マスタープラン検討委員会条例を廃止する条例

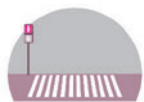
継続審査

【説明】朝霞市都市計画マスタープランは、朝霞市都市計画マスタープラン検討委員会において、計画案の作成をした後、朝霞市都市計画審議会に諮問していましたが、朝霞市都市計画審議会条例で総合的に所管することとするため、本条例を廃止するものです。

議案第20号 市道路線の認定について（根岸台7丁目地内他2路線）

原案可決（全会一致）

【説明】認定路線は、開発行為に伴い都市計画法第40条の規定により帰属された道路3路線です。



議案第21号 市道路線の認定について（溝沼1丁目地内）

原案可決（全会一致）

【説明】認定路線は、寄附採納による道路1路線です。

議案第22号 公平委員会委員選任に関する同意を求めることについて

同意（全会一致）

【説明】次の方を委員に選任することに同意を求めるものです。

ふじわら こ
藤原 ユキ子

議案第23号 固定資産評価審査委員会委員選任に関する同意を求めることについて

同意（全会一致）

【説明】次の方を委員に選任することに同意を求めるものです。

はしもと ゆみこ
橋本 由美子

議案第24号 朝霞市土地開発公社の解散について

原案可決（全会一致）

【説明】朝霞市土地開発公社は昭和49年に設立され、市に代わって学校や道路、公園等の施設用地を先行取得することなどで、本市のまちづくりに貢献してきましたが、公社における業務は平成19年を最後に行わ

れておらず、公社の存在意義そのものが低下していました。このようなことを踏まえ、土地開発公社のあり方について総合的に検討した結果、公社設立の目的は終えたものと判断し、公社理事会において解散の同意を得たことから、公社の解散について諮るものです。

議案第25号 住居表示に関する法律第3条第1項の規定による当市における市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法について

原案可決（全会一致）

【説明】住居表示に関する法律に基づき、大字根岸の一部、大字台の一部について、市街地の区域を定め、街区方式により住居表示整備を実施するものです。



一般質問

一般質問とは、生活に関わる市政全般のことについて、市に対して行う質問です。

総務関係

防災DXの導入について

須田義博議員 東日本大震災から12年がたちました。最近では地震災害だけではなく、水害対策にも対応が必要となってきた中で、朝霞市としても災害時の情報共有は大変重要になると考えます。避難所に何人の市民が避難しているのか、避難所以外に被災者はいないか、災害の状況はどうなっているのかなどの情報は、より正確かつ迅速に集める必要があると思います。そこで災害時における情報のデジタル化についての取り組みについて、市の現状をお聞きます。

危機管理監 市民が避難所の開設・混雑状況をインターネットで確認できる避難所の開設・混雑状況配信サービス、VACANの運用と、避難所の小・中学校15か所にWi-Fiを設置しており、避難時も使用可能です。VACANは、避難所が今開いているかどうかをインターネット上で確認でき、混雑状況を色で示して、避難所の情報を一目で分かるようにしています。また、防災DXとして、例えば、防災アプリなどを導入して市民からの情報を取るなどのシステムの導入については、デジタル技術の発展や国や県の動向を注視しながら調査研究していきたいと思っています。

【その他の質問項目】 アフターコロナのイベントについて（1）市民体育祭について（2）彩夏祭について

基地跡地利用の今後について

田辺淳議員 生活に欠かせない公共の場を広げるという意味で、市内に残された基地跡地の利用は朝霞市にとって最大の懸案とも言えます。残された基地跡地の面積や、これらを公園等として国から買い戻すための費用をお示しいただきながら、改めて埼玉県にも財政支援や県立公園などの協力を求められないか、お伺いします。市民に定着している「朝霞の森」についても、今後の見通し、買い戻す場合の金額、継続して無償で借り続けられるものなのか、その点について確認させていただきます。

市長公室長 公園用地として、中央部分と朝霞の森を合わせた14.6ヘクタールについて、3分の1の単価で買い戻したときに162億円、公共施設用地として1.7ヘクタールは10分の10で買い取ると61億円程度、合わせて223億円程度が見込まれる予定です。また、当時の話では、朝霞市周辺に県の公園を造る計画はないということでした。ただ、また機会があれば県に聞いてみたいと思います。

次に、朝霞の森3ヘクタールですが、こちらを買い戻すと、約33億5千万円ほどと考えています。継続して無償で借り続けられるかについては、2年に一度契約するに当たって、国と交渉が必要になります。全体計画としては、基地跡地利用計画がありますので、それにのっとった運用をしていきたいと考えています。

その他の質問項目 市民参画と合意形成／気候変動への取り組み／公害病としてのがんの発症状況／命の大切さを学ぶ機会／野火止用水・旧水路敷の遊歩道化

教育環境関係

リサイクルプラザの運用について

遠藤光博議員 リサイクルプラザは平成12年に開所され、ごみの減量化や再資源化を推進するための情報拠点として今日に至っています。開所と共に市民公募で集まったボランティアで立ち上げたリサイクル企画運営協議会が、行政と市民の協働という新しい理念を掲げ、循環型社会の構築を目指し活発に活動してきました。今後多くの団体に活用いただくために、施設の使用目的を明確にし工夫して欲しいと思いますが、取り組みを伺います。

市民環境部長 環境や資源循環に関する活動をされている市民団体の皆さんに広く活用していただくためには、施設の設置目的や具体的に利用できる事例などについて、積極的にホームページや「広報あさか」、SNSなどで周知するほか、公民館など、実際に団体の皆さんが活動されている施設へのポスターの掲示など、情報が届くように工夫をしたいと考えています。

また、施設を利用しやすくする工夫については、図書コーナーの刷新、新型コロナの関係で一時休止をしていたキッズスペースの再開などを現在検討しているところです。

その他の質問項目 行政効率化と市民サービスの向上書かない窓口の推進／開かれた市政を目指すため若者の声の反映を／公用車のEV化とカーシェアリングを



小中学校の給食費の無償化

佐久間ケンタ議員 小中学校の給食費の無償化を大阪府では、政令指定都市ながら2020年から、中核市では全国で初めて青森市が2022年10月から実施しています。

埼玉県内では、期限つき無償化は27市町村、本格的な無償化を実施している自治体は、来年度から実施する皆野町と坂戸市も含めれば、7市町村が無償化を実施します。教育委員会として期限つき無償化ではなく、給食費の本格的な無償化の議論は行われたかどうかについて、教育長の見解をお伺いします。

教育長 給食費の無償化については、これまでも再三ご要望をいただいています。小学校6年間では1,000回以上食べるという給食は、子どもたちの健全育成のための大きな役割を持っていると考えています。学校では、さまざまな新しい教育に関する取り組みに大きな予算がかかっていたり、あるいは校舎の増築、改築等にも今回、予算を充てていただいていることから、多額の財源を使って無償化というのはなかなか難しいと考えています。

その他の質問項目 18歳までの医療費無償化を実現するための財源見通し、現状と今後について市長の見解



医療的ケア児に対する学校での看護師配置

本田麻希子議員 12月議会の一般質問において、学校は子どもの医療的ケアのニーズに添えていく方向で考えているのかとお伺いしたところ、教育委員会からはその形で適切に対応したいという答弁がありました。しかし、来年度予算案では看護師配置に関する予算が確保されておらず、12月議会での答弁との矛盾があります。これまで答弁してきた医療的ケア児への支援の方向性を変更したのか伺います。

学校教育部長 12月議会での答弁同様に、変更はありません。医療的ケア児およびその家族に対する支援に関する法律をはじめとし、関連する国や県からの通知に基づき、今後適切に支援を進めていきたいと考えています。

また、現在、医療的ケアが必要な児童・生徒への対応について、来年度に庁内連絡会の設置を予定しています。看護師配置については、ケース会議を開く等個別に判断することになっていくと思います。看護師配置が必要な場合には、予算確保を含めて手続きを進めていきたいと考えています。

その他の質問項目 アウトソーシングのあり方／市民団体との公平な関係／働く世代のがんサポート



保護者の教育費の負担軽減を

山口公悦議員 重すぎる教育費負担は、保護者の生活を苦しめています。「経済的な問題で進路をあきらめた」等その実態は本当に深刻です。教育は国民の権利であり、経済的理由で差があってはならないという憲法の民主主義の原則をも踏みにじられる事態が広がっています。12月議会では私は、世田谷区の就学援助金制度の取り組みを例に、保護者の経済的負担の軽減を求めましたが、どのようなことが検討されたのかお答えください。

学校教育部長 現在、検討していることは、1点目は、電子申請による就学援助の受け付けを開始すること、2点目は、物価高騰に伴う学校給食の単価見直しに伴い、漏れのない支援を行うことを目的として、令和5年度にすべての児童・生徒の保護者に対し、就学援助の希望の有無の確認を行うこと、3点目は、一度の申請で本市の公立小・中学校に在籍している間は、継続して審査する制度を導入すること、4点目として、申請の時期にかかわらず、認定要件を満たした月からの認定とすることで、年度当初から援助を行えるように検討しています。

その他の質問項目 宮戸二丁目公園整備／部活動の改善／教育現場のハラスメントの根絶を



建設関係

内間木地域の冠水対策と朝霞調節池貯留能力

田原亮議員 朝霞調節池は外水（河川等堤防の外側）氾濫への備えとして大きな効果を発揮していますが、貯留能力を強化し内間木排水機場からの排水量を増やすことができれば、ゲリラ豪雨の冠水等内水（堤防の内側）氾濫対策としても有効となるのではないのでしょうか。

朝霞調節池東側の堤防から荒川堤防までの国有地を活用して調節池を広げ、貯留能力強化によって新河岸川への排水量を増やす等、河川管理者の国や県と連携して進めていくことについて市長の考えを伺います。

市長 私としては、ここ数年、内間木地域の方々から抜本的な浸水被害の軽減について考えていただきたいというお話も伺っていました。そのためには、議員ご指摘の面も含めて、ソフト・ハード両面の対策を総合的に行う必要があると考えており、県や国との調整、あるいは国庫補助金等の有効活用、そして安全性の向上も取り組んでいかなくてはいけないということで、現在、担当部長が国交省の河川局から来ていただいていますので、昨年暮れに抜本的な対策を考えていただきたいと指示をしています。

その他の質問項目 より良い教育環境について「主体的・対話的で深い学びの実現」①各校でのGIGA端末の使われ方②未来の教室プロジェクトへの参画



市道2号線の街路樹イチョウについて

小池貴訓議員 市道2号線（城山通り）の街路樹のイチョウは秋になると大量の葉を歩道や道路に落とします。イチョウの葉は油分を含むので非常に滑りやすく危険です。市の清掃では不十分で、沿道住民の方々が善意で清掃してくれています。葉がすべて落ちるまで毎日清掃でするので負担が増えています。市はこの現状を改善するために、市による清掃回数を増やしたり、枝の伐採や街路樹の植え替えを行うことはできないでしょうか。

都市建設部長 清掃回数については、落ち葉のシーズンに路面清掃車などによる大規模な清掃を行うことや、業者による部分的な清掃の委託回数を増やしていくことを検討したいと思います。このほかに、道路美化活動団体について活動していただける方をさらに広く募ったうえで、市民参加による落ち葉清掃などの道路美化について、他市の事例などを調査研究したいと考

えています。

また、既存のイチヨウを伐採することや、ほかの樹種に植え替えることは、周辺環境および景観面への影響から難しいと考えています。

その他の質問項目 小中学校の給食費未納問題について／私道の整備不良問題について

生活を守る安心・安全対策について

かしわや勝幸議員 市民生活・安全を守るためには交通安全対策や浸水・冠水対策等は重要であり、これまで多くの陳情をし対策をしていただけてまいりました。岡・溝沼・膝折を通る市道10号線の安全対策として、自動車のスピード抑制と歩行者通行帯拡幅など対策をしていただきましたが、今回はさらなる安全対策と冠水対策、以前より陳情し市が要望していた黒目川（笹橋・城山公園）周辺の堤防未設置部越水対策としての防水壁堤防設置工事の進捗について伺います。

都市建設部長 通学路に指定されているほか、自動車の交通量も多い市道10号線は、道路整備基本計画における拡幅路線となっていますので、歩行者等に配慮した交通安全の充実を図るため、両側にグリーンベルトを設置する予定です。集水ますの増設工事は、梅雨前までに完了したいと考えています。

朝霞県土整備事務所によると、黒目川の笹橋上流における防水壁設置工事については、1月末現在で50%以上が完了しており、今年度中に完了する見込みであるとのこと。この工事が完了することにより越水のおそれが軽減され、地域の方の安心・安全につながるものと考えています。

その他の質問項目 滝の根公園遊歩道と水施設（水遊場）老朽化・故障修繕と安全対策／城山公園の枯樹木伐採工事早期完了と安全対策／広報の充実



水道料金値上げは中止を

石川啓子議員 2022年10月検針分から、水道料金が値上げされましたが、コロナ禍の料金改定であることから、家計や企業活動等への影響を考え、半年間は値上げ額を1/2に抑える措置がとられてきました。

しかし、4月からは満額（平均12%）の値上げとなります。電気代もガス代も値上げされる中、水道料金まで値上げとなると、暮らしは一層苦しくなります。物価高騰でさらに厳しくなっているときに、値上げをするのですか。市民生活への影響をどう見ているのですか。

市長 市民生活がこういった物価高騰で大変な状況というのは十分理解しています。

水道料金は企業会計で、経営判断をしていかなくてはいけないということで、値上げを行いました。半年間は負担を少しでも軽減したいということで、減額をさせていただきました。

国も予備費を使って2兆円の経済対策もやるということも聞いており、その中で地方創生臨時交付金も追加となると伺っていますので、そういったものを活用しながら、今後もまた経済対策は進めていきたいと思っています。

その他の質問項目 コロナと物価高騰で苦しむ市民への支援を／給食費値上げの撤回を／保育中の事故について／保育園の増設を／北朝霞保育園の耐震化を

地域公共交通・市内循環バスについて

齊藤弘道議員 交通は、暮らしを支える土台です。市場や行政任せではなく、住民参加が重要です。市内循環バスについて伺います。7月に運賃の値上げが計画されていますが、理由が変わったのはなぜですか。審議会でも反対意見はありましたか。1割の人が乗らなくなる見込みですが、外出を控えることの影響をどう考えていますか。市の公共交通には、福祉的役割や市民活動を支える役割があり、部や枠を超えた取り組みが大事ではないでしょうか。市の考えを伺います。

都市建設部長 地域公共交通計画において、まずは路線バスとの運賃の均衡という観点で施策を位置付けており、その後、人件費の増大や燃料費の高騰などを踏まえて、運賃改定の実施について判断をいたしました。協議会では、改定の時期や運賃の均衡についての意見がありました。

外出を控えることへの影響については、現在の市内循環バスが置かれる厳しい状況や、今後の経費拡大について丁寧にお伝えするとともに、継続して乗っていただくような工夫に取り組んでいきたいと考えています。

市長 交通政策については、全体を見るのも当然ですし、費用的な面については市の予算の中での施策ですので、できることからまず進めていくことが大事だと思います。

その他の質問項目 多様な性自認・性的指向等の尊重、とりわけパートナーシップ・ファミリーシップ制度の取り組みと今後の課題について



朝霞台駅のエレベーター設置について

外山まき議員 足の悪い方、車椅子やベビーカーの方々から駅を利用しにくい、という声が多く届いているのですが、長年、要望の多かった朝霞台駅のエレベーター設置について、東武鉄道との協議等、進捗状況はどうなっていますか。

都市建設部長 朝霞台駅のエレベーターの設置については、令和4年6月に東武鉄道と覚書を締結し、早期設置に向けて協議を進めた結果、朝霞台駅南口広場および北朝霞駅東口広場内へ改札外エレベーターを設置することについて、本年2月28日に東武鉄道と協議が整いました。今後は、速やかな工事着手に向けて、東武鉄道において具体的な設置場所や工法の協議検討を進めていくこととなりますので、本市としても協力して取り組んでいきます。

その他の質問項目 介護予防、医療費削減としてのフレイル対策／ヤングケアラー対策／市庁舎内のデジタル化／各年代のワクチン接種率と今後の接種券配布



民 生 関 係

日常の買い物などに対する支援

駒牧容子議員 高齢化が進み、運転免許証を返納する方もいらっしゃる、自ら店舗で買い物をすることが難しくなった方が増えています。特に、交通空白地区やバスの本数が少ない地域、坂道の多い地域では買い物弱者に対する支援が喫緊の課題です。現在市内を回っていただいている移動販売車について、市からの補助金がなくなると聞いています。現在移動販売車が稼働している地域と状況、また今後も継続し、販売箇所も拡大していただきたいと思いますが、今後の支援について伺います。

福祉部長 外出機会が減少する高齢者などを支援する目的として、現在3台の移動販売車が、溝沼、岡、田島、膝折町、宮戸などを回っていただき、高齢者等の買い物の利便性を図っていただいています。令和5年度は、新たに移動販売に参入するための予算は計上していませんが、新規参入の要望等があれば、既存の3台の販売エリア、市民のニーズなどを考慮して、予算計上を検討したいと考えています。今後においては、既存の3台の移動販売車の販売ルート拡大などについて、事業者等と連携して協議していきたいと考えています。

その他の質問項目 0歳児の見守り訪問事業／産後うつ／予防／発達に障がいがある児童の学習環境について／「ボランティアポイント」の普及促進について



認知症の人や家族への支援について

宮林智美議員 2025年には65歳以上の5人に1人、約730万人が認知症になると言われています。今や認知症は誰もがなりうる病気です。MCIと言われる軽度の認知障害の段階で、早期発見することで、治療によって改善が見られたり、進行のスピードを遅らせることができたりすることも知られてきています。長寿はつつつ課や地域包括支援センターで認知症の心配のある方やその家族が相談できますが、早期の段階で相談窓口につなげるための周知について伺います。

福祉部長 市や地域包括支援センターをご案内するほか、認知症ケアガイドブックを作成し、認知症の診療を行っている医療機関等の相談窓口をご案内しています。

なお、認知症ケアガイドブックは、個別相談や出張相談等の際に活用するとともに、公共施設や医療機関、金融機関、スーパーなどにも配置し、広く市民の目に留まるように努めています。

その他の質問項目 認知症と運転免許返納について／学校支援ボランティアについて／市民センターの老朽化等地域問題について



マンション等から子どもの転落を防ぐために

岡崎和広議員 幼い子どもがマンションなどのベランダや窓から転落し、亡くなる事故が相次いでいます。子どもがベランダへ出られないようにする対策が重要ですが、24時間子どもから目を離さずにいることは不可能です。そこで消費者庁が重視しているのが、窓への「補助錠」の設置です。子どもが勝手に窓を開けないように、子どもの転落を防ぐための「補助錠」を朝霞市が配布することを検討してもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

こども・健康部長 全国的に幼い子どもがマンションなどのベランダ・窓から転落し、亡くなる事故が起きていることは認識しています。現状において、市では窓の補助錠の配布は実施していませんが、まずは国や他自治体の先進事例を調査研究させていただきたいと思います。

その他の質問項目 イルミネーション事業の効果と検証／市民の足の確保を／黒目川遊歩道を明るく／暗く危険な交差点に照明灯を／栄町給食センター跡地利用

子育てについて

福川鷹子議員 子育てがしやすいまち、つながりのある元気なまち、私が暮らし続けたいまち朝霞を実現するため、重点事業に位置付けているものを挙げているものの、障害のある子の幼稚園・保育園への入園が厳しい状況です。国や県と連携し子育て支援を充実しますとありますが、障害のある子への支援が足りないと感じます。障害のある子もない子も同様の保育を受けたいという親の気持ちがかねえられないのはなぜでしょうか。市の障害のある子に対しての取り組みをお聞きます。

こども・健康部長 公設の保育園では、育成保育を行っており、公設の保育園1園当たり2名から4名の枠を設けて、心身に障害等があり、加配職員を配置することで集団保育が可能なお子さんを預かるもので、毎年10月頃に受け付けを行っています。民設の保育施設では、加配児童に配置する職員に対する補助金の支給を行っています。幼稚園では、各園が独自に入園を行っていますので、朝霞市から障害のある子入園について促したり割り振ったりすることは、制度上できない状況です。まずは市にご相談いただいて、どういった支援ができるかこちらでアドバイスをさせていただきます。

その他の質問項目 道路行政について／自然環境に恵まれたまちを目指す取り組みについて



幼児・児童等の子育て生活環境について

大橋正好議員 共働きの子育てが大変に難しいのでどうしたら良いか。使用済のおむつを持ち帰りでなく、おむつを園で一括購入して、各自の用意でなく、格安にしての利用方法はどうか。また、布団について、衛生面からも園で乾燥から管理ができないか。

子育てと仕事が両立しやすい職場・企業についてはどうか。さらに、経済的な支援・応援はどうか、現状の工夫はどうかをお聞きます。

こども・健康部長 おむつを保育園で仕入れることについては、他の自治体等では、保護者が業者と定額で購入する契約をして園に届けてもらう制度を導入している園がありますが、業者の選定や保護者の費用負担等の問題もありますので、今後調査研究していきます。

布団乾燥については、公設公営保育園では、年1回、市が乾燥消毒を実施してきましたが、保護者のご協力のもと持ち帰っていることから、令和4年度から、市では布団の乾燥消毒は行わないこととしました。現在、

各園の保護者会のご協力により、年に1回から2回、乾燥消毒を行っているということですので、引き続きご協力いただきたいと思います。

その他の質問項目 学校教育のSDGs／放課後児童クラブ／市道892号線の状況



高齢者にも読書バリアフリーな環境

黒川滋議員 高齢者の生活のQOL維持のために、本を読むなどの文化活動は重要です。現在、高齢者施設での本の確保や新聞購読は可能なのでしょうか。図書館として支援できることはあるのでしょうか。また、移動図書館のようなことを考えるべきではないでしょうか。

福祉部長 現在、特別養護老人ホームでは、新聞購読できる施設はありますが、特別に本を用意している施設はありませんでした。ただし、ご本人が施設で新聞を購読することは可能と確認しています。一方、特別養護老人ホーム以外の入所施設の状況は未確認で、確認してみたいと思います。

生涯学習部長 図書館では団体貸出というサービスを行っており、本館は300冊、分館は100冊を上限として3か月間、市内の学校や事業所などに資料を貸し出しています。ご利用にあたっては、施設側で運搬していただくことになります。

その他の質問項目 諸計画策定の市民参画／わくわく号のダイヤ見直し／補助幹線道路の安全確保／次期公共施設等マネジメント計画と校舎

AYA世代の在宅医療の助成について



利根川仁志議員 AYA世代患者さんに、住み慣れた環境で家族と過ごしてもらうことを後押しするため、在宅療養を支援する自治体が全国的にも増えており、その支援内容は、40歳未満の末期がん患者さんを対象に、在宅医療に必要な福祉用具や訪問介護の利用料を助成するものです。40歳未満は介護保険制度を利用できず、特に20歳から39歳までは医療費の公的助成も対象外で、制度の「はざま」世代となっています。AYA世代の在宅医療への補助を行うことについて、朝霞市の考えをお伺いします。

こども・健康部長 これまで健康づくり課に、20歳から39歳までの在宅療養者の方からの相談や、支援に関する要望などはありませんでしたので、支援に関して検討した経緯はありませんが、介護保険制度や障害福祉制度の対象とならない方への支援の必要性につ

いては、認識しています。今後は、国また県の動向を注視するとともに、先進市の状況なども調査研究していきたいと考えています。

その他の質問項目 新型コロナウイルス対策／自治体業務のDX推進／子育て支援／中学校部活の地域移行／児童相談所の朝霞市内への設置／働き方改革



議員提出議案1件を審議

議案の件名と要旨は、次のとおりです。

朝霞市議会の個人情報の保護に関する条例

原案可決（全会一致）

令和3年5月19日に公布された、デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律により、個人情報の保護に関する法律が改正され、地方公共団体は改正後の法律により全国的な共通ルールが適用されますが、議会は適用除外となります。

議会として引き続き個人情報の適正な取り扱いを確保するため、議会における個人情報の保護に関する条例を制定するものです。

請願の審議結果

—継続審査—

学校給食費の無償化を求める請願

（請願者）

新日本婦人の会朝霞支部 支部長 ぶかざわ やすこ 深澤 侃子

※掲載内容は令和5年第1回定例会時点のものです。

（敬称略）

議会からのお知らせ

議会中継・録画配信

市議会では、インターネットで本会議における会議の様態をライブ映像および録画映像により公開しています。



ライブ映像

朝霞市議会 中継

検索



録画映像

議会の詳細は会議録で

市議会の審議内容を詳しくお知りになりたい方は、市政情報コーナー（市役所別館4階）のほか、図書館または各公民館図書室で会議録をご覧ください。市ホームページからもご覧いただけます。

なお、常任委員会の会議録も図書館または市ホームページからご覧いただけます。

※今回の会議録は、6月上旬に公開を予定しています。



会議録

または

朝霞市議会 会議録

検索



議会の傍聴について

本会議は公開されていて、どなたでも傍聴できます。傍聴は市議会の活動状況を直接知ることのできる身近な方法です。

定例会と臨時会

市議会の会議には、定例会と臨時会があります。定例会は、毎年3月、6月、9月および12月の年4回開催されます。

臨時会は、次の定例会までの間に議会の議決が必要となる特定の事件に限って招集されるもので、原則として、告示された特定事件に限り審議することになります。

市議会の招集は、市長が行いますが、議会運営委員会の議決を経るか、議員定数の4分の1以上の議員から招集の請求があったときは、市長は臨時会を招集しなければなりません。

寄附行為の禁止について

議員の寄附行為は、公職選挙法の規定により禁止されています。

～次のようなものが寄附禁止の対象になります～

- ・お中元やお歳暮
- ・暑中見舞いや年賀状などの時候のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除く）
- ・本人が出席しない結婚式の祝儀や葬式の香典
- ・まつりや親睦旅行への差し入れや寸志等

次回定例会の予定

次回定例会の開会は、6月13日（火）午前9時からの予定です。

※請願の提出は、6月6日（火）午後5時までにお願いします。